

エスパシオエンタープライズ(株)

<https://wedding.espacionagoya.com>

エスパシオ ナゴヤキャッスルが10月1日に開業。 ウェディングの予約を受付中

半世紀以上に渡り、名古屋を代表する迎賓館として皇室や国賓を迎えてきた「ホテル ナゴヤキャッスル」が、エスパシオエンタープライズ(株)が運営する「エスパシオ ナゴヤキャッスル」として生まれ変わり本年10月1日に開業する。それに伴い5月1日よりウェディング予約を開始している。エスパシオブランドのコンセプト「BEYOND THE LUXURY」の下、幾多の歴史に彩られたアートな舞台で記憶に残る一日



名古屋城天守閣と豊かな緑を借景にした「天守の間」のイメージ。最大収容人数400名と国内最大級の広さを誇るラグジュアリーな会場だ

を演出する。

壮麗な名古屋城を庭に見立てた“日本一城郭に近いホテル”のメインバンケット「天守の間」は、名古屋城天守閣と豊かな緑が借景となる国内最大級の会場で、高さ6.6mの金色の格天井や美しい屏風絵が彩りを添える。他にも庭園越しに名古屋城を望む「飛龍の間」と、鮮やかな藍色が目を引き、襖絵アートが印象的な「彩雲の間」など、荘厳で優美な会場も備えている。挙式はキリスト教式や神前式のほか、開放感あふれるガーデンセレモニーなど、名古屋城を臨む場所でおふたりらしいスタイルの挙式を提案する。

数々の料理コンクールで受賞歴のある鈴木直也総料理長が手掛ける料理は、四季折々の自然の恵みや地元愛知県の食材をふんだんに盛り込んだ華やかな味わいのものとなっている。

同ホテルは「新郎新婦をはじめ列席者の皆さまの心の満足と人生を豊かにする体験をここから始めていただきたい」とコメントしている。〈多〉

<https://www.escrit.jp>

(株)エスクリ

(株)スタイルズ運営の京都・名古屋の2式場の事業を譲受し、 運営を開始

(株)エスクリは8月1日より、(株)スタイルズが運営していた結婚式場「KIYOMIZU 京都東山」と「ラソール ガーデン・名古屋」、並びにレストラン「東山庭 (Higashiyama Garden)」の事業を譲り受け、新たに運営を開始した。

「KIYOMIZU 京都東山」は、歴史と風情あふれる京都・東山エリアに位置し、日本古来の儀式「水合わせの儀」に着想を得た邸宅型の結婚式場。観光名所にも近く、国内外からのゲストにもアクセスしやすい立地となっている。同社初の京都エリア進出となる会場であり、これにより関西主要3都市(大阪・神戸・京都)での展開が実現する。

一方、「ラソール ガーデン・名古屋」は、名古屋駅近くに立地しながら緑豊かな空間を備えたプライベートリゾート型の会場。同社が名古屋エリアで保有している2会場はいずれもビルイン型施設だが、今回譲受した本会場は同エリア初の“独立型”ウェディング施設となる。ゲスト動線や貸切感、空間演出において自由度の高い提案が可能となり、多様化する新郎新婦のニーズに応える重要なポジションを担う。

今回の譲受により同社は、関西・東海エリア双方での存在感をさらに高めることとなった。既存スタッフは原則として継続勤務し、既契約の顧客に対しても変わらぬサービスを提供する体制を整備。地域特性と同社のノウハウを融合させ、より魅力ある施設運営を推進していく方針だ。〈石〉



KIYOMIZU
KYOTO HIGASHIYAMA



LAZOR GARDEN
NAGOYA

エスクリが新たに運営を開始した2拠点。京都・東山の風情を生かした「KIYOMIZU 京都東山」(左)と、緑あふれる独立型施設「ラソール ガーデン・名古屋」(右)のロゴマーク